

WEEKLY Rotary 一宮中央RC REPORT

2024～2025年度 RIテーマ

ロータリーのマジック

地区方針「魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー」



THE ROTARY CLUB OF ICHINOMIYA CENTRAL

- 創立1990年10月31日 ●承認1990年11月16日 ●事務局 〒491-0858 一宮市栄4丁目6番8号 一宮商工会議所ビル5F
- 例会日時 毎週水曜日(PM6時～7時) TEL 0586-24-1959 FAX 0586-71-4390
- 例会場 一宮商工会議所ビル3Fホール E-mail: icrc@alpha.ocn.ne.jp URL: http://www.138crc.com
- ◇会長 大塚 省治 ◇会長エレクト 長橋 國和 ◇幹事 山田 満 ◇クラブ会報委員長 森 眞

令和6年10月30日(水)

第1561回(当年度第14回)例会

本日のプログラム

創立34周年記念例会

第1560回例会(当年度第13回の記録)

- 令和6年10月23日(水) 18:00～19:00
- 会場 一宮商工会議所ビル3Fホール
- 開会の点鐘 大塚会長
- ロータリーソング「それでこそロータリー」
- 会長挨拶 大塚 省治

皆さんこんにちは、本日も例会にご出席いただきありがとうございます。

本日はロータリー財団委員会の担当例会にて、ロータリー財団についてお話しさせていただきます。ロータリー財団とは、1917年アーチ・クラフが「世界でよいことをするための」基金の設置から始まり、皆さんもご存知のとおり、ロータリーが人間の「カラダ」だとしたら、ロータリー財団は「血液」です。「血液」が無ければ「カラダ」は動きません。ロータリー財団は、ポリオ根絶をはじめ、様々な奉仕活動の源であります。



また、ロータリー財団への寄付を行なうことが、ロータリアンであることは、揺るぎないものと考えます。先日、当クラブとしても、ロータリー財団のプログラムでもある地区補助金を活用させていただき、青少年ミニサッカー大会を開催することができたことは少しでも、「世界でよいこと」ができたのではないかと、思っております。

また、先日、ポリオプラスへお一人様30ドルの寄付、ありがとうございました。年次基金への寄付も是非ともよろしくお願い致します。

| | | | |
|------|---------|-----------|--------|
| 出席報告 | 会員総数 | 32名 | |
| | 出席会員数 | 26名 | 81.25% |
| | 他クラブ出席数 | 0名 | |
| | 修正出席率 | 前々回(9/25) | 100% |

□ロータリー財団バッジ授与



ポール・ハリス・フェロー+2 大塚 省治君
□米山功労者感謝状授与



第3回米山功労者 大塚 省治君

友を悼む 安らかに加藤辰己君



去る令和6年9月10日、加藤辰己君がご逝去されました。10月23日例会前に黙祷をささげ、ご冥福をお祈りました。

□ニコボックス(ABC順)

☆秋田敬治君 10月10日、11日と福島県浜通りの工業団地を15ヶ所視察してきました。6年半ぶりでしたが、やっと工業団地らしくなって、これなら使い物になると思いました。大熊西工業団地の年㎡:60円の賃貸単価にはビックリ！補助金も税制優遇もてんこ盛りですよ。

☆伴 卓樹君 例会に出席できたので。

☆春木和美君 今朝、母が亡くなりました。86才でした。私を生んでくれてありがとうございます。私を育ててくれてありがとうございます。

☆猪子裕史君 平々亭青馬さん、私も話しをしますが、たのしく盛り上がる嘶をお願いします。

☆井上雅樹君 例会に出席できたので。

☆梶原誠二君 例会に出席できたので。

☆小島三男君 健康であることに。

☆松前憲典君 本日は、ロータリー財団の話、猪子裕史君よりよろしくお願い致します。卓話として、「寄付あれこれ」と題し、平々亭青馬様、お話しを楽しみにしております。

☆宮田浩二君 平々亭青馬様、ようこそ。ロータリー財団の卓話、寄付あれこれを楽しみにしています。

☆長橋國和君 例会に出席できたので。

☆永田 正君 青馬様、ようこそお越し下さいました。本日は宜しくお願い致します。

☆西岡則男君 健康であることに。

☆大塚省治君 本日は猪子ロータリー財団委員長ならびに平々亭青馬様「寄付あれこれ」と題しての卓話、楽しみに拝聴させていただきます。よろしくお願い致します。

☆佐藤祐造君 今日、かみさんの誕生日です。お花をありがとうございました。

☆内田泰潤徳君 今日、ロータリー財団委員長猪子裕史様、卓話お願いします。ロータリー財団は地区に外向時大変お世話になりました。ロータリーにとって一番重要な財団です。お話しをお願いします。

☆山田 満君 例会に出席できたので。

□地区出席報告



「第1回クラブ国際奉仕委員長会議」 国際奉仕委員長 伴 卓樹君

9月17日に行われました国際奉仕委員長会議の内容をご報告致します。90名の参加者で開催されました。その中でロータリー財団補助金委員長の藤野直子さんのお話で「海外で活動をしななければいけない訳ではなく、日本国内でも実施国としてグローバル補助金を利用できる」ということです。海外の国に行っても大きな規模の活動をするのではなく、海外のRCや現地の人達と協力して日本をより良くするために利用することも良いようです。

また岡崎城南RCの筒井健さんの発表では、日本で就労している外国人を地元岡崎で、外国人の運転免許取得や飲食業許可、公共施設の利用ルールや災害時の対応、自治会や学校でのコミュニケーションや就労活動などの奉仕活動を行っているそうです。2023年度の2760地区の活動に関するアンケートには国際奉仕をしたことがないクラブでは38%となっております。今回の会議では、比較的容易な日本国内での国際奉仕活動のお話や発表がされておりました。以上でございます。

□会員卓話



ロータリー財団委員会 委員長 猪子 裕史君

「国際ロータリーのロータリー財団について」

まず10月24日は世界ポリオデーでありますので国際ロータリーの最優先事項でありますポリオ撲滅からお話いたします。

1940年頃から全国各地で流行1960年には北海道を中心に5,000人以上の患者が発生して大流行となります。1961年にポリオワクチンを緊急輸入一斉に投与することで流行は急速に終息し、現在は99.9%。減少ポリオの常在国は40人でアフガニスタン19人パキスタン21人です。(2024年1月1日～9月26日まで)

ポリオを根絶するためロータリーは毎年5000万ドルを拠出目標とし、ビル&メリンダ・ゲイツ財団から2倍の1億ドルが上乘せされます。(213億円)ポリオワクチン予防接種はすべての国で行われています。紛争地域でのワクチンデリバリーにはインフラが整っていないため通常よりも多くの資金が必要です。

もしポリオが根絶されれば日本で、1回あたり5000円×4回=20000円年間160億円の節約になるそうです。

ロータリー財団とは、ロータリークラブおよび地区を通じて実施される承認された人道的および教育的活動の支援のために寄付を受け付け資金を分配する団体です。2022年～23年の実績は520億円の収入でした。

財団の補助金 シェアシステムは47.5%が地区財団活動資金と47.5%が国際財団活動資で地区財団活動資金の23.75%地区補助金と同じ額がグローバル補助金に分けられる。

恒久基金 現在17億8800万ドルで25億ドルが目標で年間6%で運用している。

□卓話



オフィス アクアマリンリング

へいへいとい ぶるま
平々亭 青馬様
「寄付あれこれ」

*** 地区ホームページに掲載されました ***

「ガバナー公式訪問報告」



SAA 長屋 慎二君

令和6年9月25日(水)に国際ロータリー第2760地区ガバナー 吉川公章様、地区幹事 片桐満様をお迎えして、一宮商工会議所に於いて一宮北ロータリークラブと一宮中央ロータリークラブ合同でクラブ懇談会とガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会前の懇談会では、4つの行動計画や3年間計画など持続可能な奉仕活動を両クラブの方針を交えながらお話をされました。

例会の卓話では、ステファニーA.アーチックRI会長のテーマである「ロータリーのマジック(魔法)」を提唱した由来をビデオ見ながら丁寧に説明してくださいました。RI国際大会でステファニーA.アーチックRI会長と撮影した写真は、にこやかな笑顔が印象的でした。

吉川公章ガバナーの地区方針は、「魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー(行動計画4つの優先事項にそって戦略計画を)」です。

奉仕活動を通じて未来に向けて成長するロータリーの新たな価値を生み出すためにDEI(多様性・公平性・インクルージョン)の行動規範の考え方や最近の会員数の状況、ポリオの絶滅など説明されました。

4つの行動計画および3年間計画、会員数の状況などは、クラブが抱えている課題でもあるため1つ1つ目標をもって取り組み、課題解決に向けて役立たせていただきます。また持続可能な奉仕活動を継続していき、将来に向かって魅力あるクラブとなる様に邁進してまいります。

大変貴重な卓話をありがとうございました。今後ともよろしくお願致します。



地区補助金事業報告

「ロータリーカップ青少年ミニサッカー大会」

幹事 山田 満君



一宮中央ロータリークラブでは、2024-2025年度地区補助金事業として、小学生チームによる5人制ミニサッカー競技会『第15回ロータリーカップ』開催を計画する中、社会奉仕活動として幼児チームの参加も地域社会に募り、また地域市民にロータリー公共イメージ向上のため情報発信すべく公共イメージ向上委員会との3委員会合同企画として2024年9月14日(土)に一宮総合体育館にて開催しました。

競技参加者は300名(小学生28チーム、幼児6チーム、

監督・コーチ各2名)、観戦者約300名の合計600名に対して、我々ロータリアンとの触れ合いの中で盛大に大会を行うことができました。

今回で15回目となる大会ですが、毎回ロータリアンもチームを作り、参加する小学生と共にサッカーを通じて青少年の育成と体力の増進を計るため、「エキシビジョンマッチ」を行うのですが、過去一度も子供たちに勝つことができないため、協力助っ人として元全日本女子サッカー選手をゲストにお招きして臨みました。惜しくも1:2で敗れましたが、参加した選手とロータリアンとの楽しい触れ合いの場でした。

そして幼児チームの試合では、想像よりもスピード感あるパスワークやシュートなど可愛さの中でしっかりとプレーしている姿と、それを応援する観戦者の一生懸命な声援が大変微笑ましくありました。

会場のエントランスでは、ロータリーの紹介、参加チームの紹介、過去にロータリーカップ出場され現在Jリーグで活躍中の選手の応援メッセージを終日動画で放映し、参加者や観戦者の皆様が足を止めて視聴して頂き、ロータリーのことを印象付けることができたのではないかと思います。

地元新聞社や地元ケーブルテレビの取材の方々も一緒に楽しんで頂ける大会になったことが大いに一般の人々の広報にも繋がったと思います。

本大会の協力団体のディッスンザット様、またご臨席ご挨拶を賜りました鶴飼和司市議、ご参加頂きました参加チームの監督、コーチと選手の皆様、そしてご父兄の皆様、また関係各位、誠にありがとうございました。



□地区出席報告



「第14期RLI会長エレクト研修パートII」 会長エレクト 長橋 國和君

9月29日(日)ANAグランコート名古屋ホテルにて第14期2760地区地区RLI会長エレクト研修パートIIに参加させて頂きました。10時から16時30までの研修を終了してから17時より19時迄懇親会に参加させて頂きました。研修会の内容は大変ためになる事ばかりで、段々会長になる為の準備が整って来たと言う実感が湧いて来ました。親睦会では他地区の会長エレクトさん達と沢山の意見交換をして今後、役にたつお話を聞いて来ました。正に会長になると言う事は大変な事だと実感して来ました。あと数回の研修が有るそうですが、全てを実践する事は難しいと思いますが少しでも我がクラブの為になるように、今後の理事、役員、委員長と共にこの経験を共有し邁進していきたいと思いました。



「クラブ青少年奉仕関連委員長会議」 青少年奉仕委員会 委員長 岩田 真周君

令和6年9月26日(木)、名古屋マリオットアソシアホテルにおいて、第1回クラブ青少年奉仕関連委員長会議が開催され、私は出席させて頂きました。

当日は、吉川ガバナーをはじめ地区役員と各ロータリークラブのインターアクト委員長・ロータリーアクト委員長・RYLA委員長・青少年交換委員長の95名ほどの関係ロータリアンの方が参加されました。

はじめに吉川ガバナーより、2760地区は青少年奉仕委員会が多種多様な活動を積極的に行っている。すなわち青少年育成に真剣に取り組んでいるクラブが非常に多くロータリーはそれぞれの活動が終わってからも青少年との絆を大切に、参加された青少年が学友会の組織を通じてさらに活発的に活動し、様々な経験をした青少年が社会に出て活躍している。すなわち経験したことをキャリアアップに生かされている誇らしい地区である。とご挨拶されました。

その後の会議で、地区のインターアクト・ロータリーアクト・RYLA・青少年交換・学友の各委員長より目的と活動に関する内容にてプレゼンテーションが行われました。

各委員会のお話の中で、会員増強や参加したい青少年がいても受けてくれるクラブがないといったことが問題で、ロータリー会員である喜び絆を大切にいき積極的に引き受けてもらいたいとお話されました。

私は参加しているいろいろと改めて考えさせられる貴重な一日になりました。

□第4回理事会報告

報告事項

- ①今期ニコボックス高 492,832円
- ②ロータリーレート 1ドル 142円(前月末145円)
- ③クラブ職業奉仕委員長会議
2024年10月23日(水) 15:00~19:00
刈谷市産業振興センター
松岡職業奉仕委員長(登) 12,000円
- ④第14期RLI会長エレクト研修パートIII
2024年10月27日(日) 10:00~16:40 ウィンクあいち
長橋会長エレクト(登) 14,000円
- ⑤事務局のパソコン入れ替えに伴う支出
~第1回理事会承認済
クラブ基金より拠出 236,940円
- ⑥会員増強にあたり、例会体験 10月9日(水) 3名

審議事項

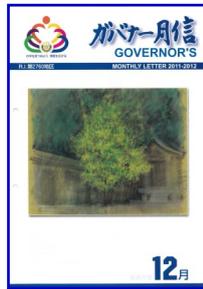
- ①第1577回例会(9/14青少年ミニサッカー大会)の決算に関する件
- ②地区補助金事業の報告書に関する件
- ③ガバナー公式訪問(9/25)の分担金に関する件
- ④第1565回例会(12/11クリスマス家族会)の予算に関する件
- ⑤2025~2026年度理事役員の指名委員会設置に関する件
- ⑥新会員の入会に関する件
- ⑦クリスマス家族会の招待者に関する件
- ⑧「令和6年9月能登半島豪雨災害(2610地区/石川・富山)」義援金に関する件
- ⑨ロータリー希望の風奨学金の支援に関する件
- ⑩「赤い羽根共同募金」の協賛に関する件

【④継続審議/④以外全て承認】

※議事録閲覧希望の方は事務局までお申し出ください

【不亦楽乎】<またたのしからずや>

光ある樹・ポールハリスの樹



いつまでも残暑が続く中、少しずつですが秋も深まっています。「芸術の秋」とも表現されるこの時期に思い出されるのが、松前憲典ガバナー年度(2011~2012年度)に、ガバナー月信の表紙絵を描いていただいた画家、故石原ミチオ氏です。実に気さくな親しみやすい方で、編集を担当した森俊一郎君とふたりで、月に一度作品を受け取り

りにアトリエを訪問するのがとても楽しみでした。

画伯には、西尾張分区の各スポットを絵にしてくださいましたが、中でも相当に悩まされた対象が12月号の「光ある樹・ポールハリスの樹」だと後述されています。

これは、真清田神社社殿東の服織神社本殿の垣内西脇に成育しているもの(碑は拝殿の外にあります。)ですが、1935年ポールハリス夫妻が来日の際、帝国ホテルの中庭に記念植樹された月桂樹が元で、その後戦火は潜ったものの育成の努力むなしく枯死寸前となる中、東京RC会員の矢野一郎氏(第一生命)らが富士山麓へ枝葉を移植し必死の処置を施した結果、二世となる樹が復活。しかし、100本とも300本共いわれた苗木のほとんどが枯死してしまう事態となりました。それにめげず献身的な世話を続け、ついに8本が活着したということです。1980年4月蘇った月桂樹は、東京RC創立60周年に際し新装の帝国ホテル正面の庭へ戻され、同時に米山記念館前庭、皇居北の丸公園へも移植されました。この時一宮RCの安野譲次氏がこれを株分けし譲り受け、小田原の自宅で丹誠込め育てられました。1985年創立35周年にあたり、安野氏がさらに分け木したものを寄贈(1986年5月)、現在の位置へ定植されたものです。(詳しくは2011~2012年度ガバナー月信12月号をご一読ください。)

私にとって服織神社は、参拝する度に由緒ある月桂樹の存在を確認するそして、談笑した石原画伯の懐かしい姿が胸をよぎる場所となっています。

クラブ会報委員会

2024年11月6日(水) 休会(定款7-1d)

次回 2024年11月13日(水)の例会予定

クラブアッセンブリー
地区大会報告